

























11月トリアだより



11月の活動

月	火	水	木	金	土
	1 運動 認知課題 	2 音楽・絵画  スモック	3 休み (文化の日)	4 感触・ルール  スモック	5 休み
7 運動  (早降園日)	8 音楽・絵画  スモック	9 屋外・手指  帽子	10 感触・ルール  スモック	11 運動 認知課題 	12 音楽 
14 音楽・絵画  スモック	15 屋外・手指  帽子	16 感触・ルール (公開療育)  スモック	17 運動 認知課題 	18 音楽・絵画  スモック	19 休み
21 屋外・手指  帽子	22 屋外(勤労感謝) ルール  帽子	23 休み (勤労感謝の日)	24 音楽・絵画  スモック	25 屋外・手指  帽子	26 感触  スモック
28 ルール  (早降園日)	29 運動 認知課題  (避難訓練)	30 音楽・誕生会 	※16日(水)の公開療育は、外部の方が来園し、療育を見学する予定となっています。保護者の参観ではありませんので、ご了承ください。 ※22日(火)の屋外では、中央消防署南林寺分遣隊に制作で作った作品を渡しに行きます。雨天や消防署員が緊急出動している際は中止となりますのでご了承ください。		

専門職の来所日は下記の通りになります。

- ・公認心理師(松本): 2日(水)、5日(土)
- ・言語聴覚士(永山): 10日(木)、11日(金)、18日(金)、29日(火)、30日(水)
- ・理学療法士(樋口): 7日(月)~10日(木)



・持ち物全てに記名をし、持たせて下さい。また、記名がない場合は事業所にて記名をさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願い致します。

※当日のキャンセル連絡は、お電話にて9時15分までに連絡をお願い致します。9時15分以降の連絡になりますと、昼食代(264円)が発生します。

・活動時間確保の為、9時50分～10時15分までに登園下さい。10時15分までに登園されない際は、ご連絡させていただきます。

・降園時の引き継ぎを13時50分頃より開始しています。14時までに来所されない場合は、一度ご連絡させていただきます。

・下着(パンツ)の貸し出しがあった際は、未使用の物を返却して頂きますよう、よろしくお願い致します。

・お子様のごで悩み事や困り事等ありましたらご相談下さい。コドモンや交換ノートを必要に応じてご利用下さい。

・トイレトレーニングを行っている方は、トレーニングセット(パンツ、スポン、Tシャツ、肌着、ビニール袋)を袋にまとめて準備をさせていただきますよう、お願い致します。

・着替えた衣類を入れる袋を、必ず持たせて下さい。(スーパーのビニール袋等で構いません。)



皆さん、こんにちは。今年もあっという間に残すところあとわずかです。コロナ感染への対応も変化していますが、今度の冬は楽しいクリスマスやお正月の計画が立てられたらいいですね。

さて、今回はひらがなを覚えるために必要なことがらをいくつかお知らせしたいと思います。本来ひらがなは、特に教えずとも幼稚園・保育園の年長の秋頃から小学1年生の夏頃までにほとんどの子どもさんが読めるようになります。ただ最近では早期教育への意識の高まりから、4歳くらいでもひらがなが読めないとの相談を受けることがあります。確かに文字を覚えることは大事なことです、その前に獲得しておくべきことがありますので注意が必要です。

子どもは4歳頃まではことば(単語)をひとまとまりでとらえていますので、ひらがなが読めるようになるためには、まずことばがいくつかの音のつながりからできていることに気づく必要があります。例えば「りんご」は「り」「ん」「ご」という3つの音からできており、最初が「り」真ん中が「ん」



最後が「ご」という順番に並んでいると知ることです。次に必要なのが形を正しく認識する力の発達です。「あ」と「お」、「め」と「ぬ」など似た形の文字がたくさんあり、それを区別して音と対応させる必要がありますので、形を区別する力が重要になります。複雑な形を区別する力には個人差も大きいものです。

子どもさんのこれらの能力の発達と文字への興味関心を大切にしながら、教える場合には、50音の音は歌などを活用して耳から覚えてもらい、文字を覚える時には「りんごの“り”」などと意味と一緒に覚えたり、文字の形の特徴をことばにして(“くるりん”、“びゅーん”など)イメージしやすくしたりすると良いでしょう。私たちが子どもの頃に楽しんだ「じゃんけんグリコ」は遊びながらことばを音に分解することに役立ちます。「書いて覚える」にはまだ指先や手の発達、両手を同時に使う能力(紙を非利き手で押さえて利き手で書く)、見比べる能力などが未熟ですので、十分に読めるようになってからでも良いと思います。ただ、どうしても音の区別や形の区別が難しい子どもさんもいますので、学習方法の工夫をしながら、文字だけにとらわれず、知っていることばを増やす、会話や説明する力を伸ばすことを忘れないようにしたいものです。活動の中でも様々に取り組んでいますので、不安なことがありましたら、是非ご相談ください。

言語聴覚士 永山理香

